



シーズ分野 臨床医学 精神神経科学

「DNAメチル化を指標としたアルツハイマー病の診断及び層別化血液バイオマーカーの開発 (1)」

お問い合わせ先:
 東京慈恵会医科大学
 大学事務部 研究推進課
 電話: 03-5400-1200 (内線2538)
 Fax: 03-5400-1273
 メール: ura@jikei.ac.jp



東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座 小林伸行准教授

関連文献・特許

- *Sci Rep* 2020;10(1): 12217
- 特願2022-161607

研究概要

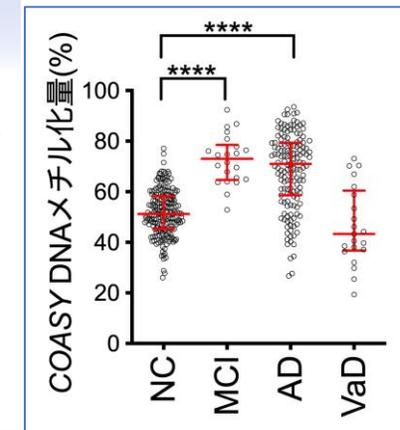
- *COASY* 遺伝子プロモーター領域の血液DNAメチル化量の測定によって、AUC 0.84、感度71.1% 特異度88.5%の確率でアルツハイマー病及び軽度認知障害 (MCI)を診断可能であった (図1)。
- メチル化感受性高分解能融解 (MS-HRM)法よりも簡便なリアルタイムPCR法を開発した (図2)。

⇒ **アルツハイマー病を血液検査によって安全・安価に診断**

研究者からのお願い (ニーズ)

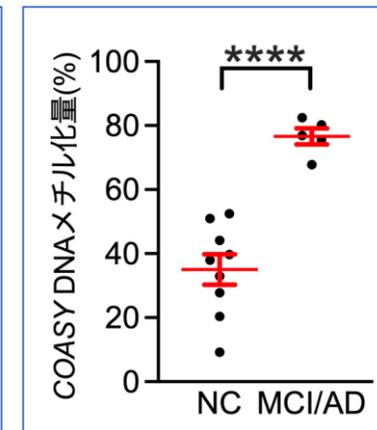
- **実用化 (PMDA申請)に向けた共同研究開発、新規標的の共同探索**

図1. MS-HRM法



(Kobayashi N, et al. *Sci Rep* 2020;10(1))

図2. リアルタイムPCR法



検証

システム化